# 令和5年度保育園における自己評価

| 評価項目 | 評価内容 | 課題 |
| --- | --- | --- |
| 組織体制 | ・新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類に移行したことで行事を見直した。周りの状況を見ながら保育参観や試食会も再開した。 | ・運動会、発表会は保護者の要望で、各クラスで時間をずらす方法を継続したが検討していく。 |
| クラス運営 | ・子どもの興味・関心に合わせて活動内容を考え発達に沿って計画を立てた。設定した保育のねらいないようが子どもの実態に合っていてスムーズな運営ができた。 | 子どもの実態や前年度の反省を踏まえ発達に合った遊びの展開環境構成や援助の在り方を追求していく。 |
| 健康安全 | ・朝の視診や日誌で健康状態を　把握し、日中も子どもの様子に気を配り、適宜検温を行った。<br>・業者による年2回の遊具点検、職員による遊具点検を週1回実施することで事故防止に努めた。<br>・年間計画に沿って月1回の避難訓練を実施し、記録している。地震・防犯訓練・交通安全も行っている。<br>・10月に引き渡し訓練を行ったがスムーズに出来た。 | ・子どもの発達や行動から起こりうる場面を想定し危険だと思う事は保育士間で共有し防止策を考え対応していく。 |
| 乳児保育 | 入園前にミルクや離乳食の進み具合、アレルギーの有無、健康等、配慮することを個別に聞き、家庭的な雰囲気の中で過ごせるように努めた。 | ６か月未満児にはセンサーで睡眠時無呼吸症候群の予防を行う。 |
| 保育内容 | ・子どもの気付き，発想などに共感し受け止め、状況に応じて柔軟な対応をすることができた。<br>・子どもにとって困難なことがあった時すぐに援助したり、答えを出したりしてしまわず子ども自身の気持ち、主体性を尊重した対応が出来た。 | ・子どもたちが今、何に、興味関心があるのかを考えて活動を設定していく。<br>・新しい手遊びや手作り玩具等を増やし遊びを工夫していく。 |

| | | |
|---|---|---|
| 食育 | ・野菜の栽培・収穫を通して、食べる喜びや楽しさが味わえるよう自分たちが世話をした玉ねぎの絵を描いたり給食に取り入れる事で食べ物への興味関心が持てるようになった。<br>・年長児の当番が毎日の給食献立を見て３つの食品群に分類、掲示する事で興味が持てるようになった。 | ・成長に合った食育活動の工夫を行う。<br>・アレルギー対応について詳しく話し合い共通理解していく。 |
| 保護者支援 | ・送迎時や個人懇談等で保護者が感じている事や疑問に思っている事などを把握し連携・問題解決に努めた。<br>・2歳児～5歳児は今日の活動を玄関に毎日掲示することで子どもたちの様子を知ってもらった。 | ・難しい質問や相談には即答せず、園長、主任に相談した上で答えるようにする。 |
| 職員<br>資質向上 | ・園外研修についてはリモートから対面での研修に移行していったため参加人数は少なくなった。<br>・園内研修についてはエピソードやビデオ研修を行い保育を振り返り、援助について見つめ直し実践し、子ども理解・適切な援助につながった。 | ・職員同士が活発に意見交換をして資質向上に努めていく。 |